

# CL Editor 主なアップデート内容

## V5.00

### V5.00 の新機能

- CL/QL ファームウェア V5.00 に対応しました。
- 画面の表示サイズを切り替えるズーム機能を追加しました。

### V5.00 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

## NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみのコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

## V4.5.0

### 新機能

- CL/QL ファームウェア V4.50 に対応しました。  
詳細は CL/QL V4.5 追補マニュアルをご参照ください。

### V4.5.0 で修正した不具合

- With Recall がオフになっている I/O デバイスがあるときに、Editor と本体を Sync しても、HA パラメーターが同期しない不具合を修正しました。

## V4.1.0

### 新機能

- CL ファームウェア V4.10 に対応しました。
- CSV ファイル書き出しのオプションが追加されました。
- CSV ファイルの読み込みで、認識できる表記が増えました。

詳しくは [CL V4.1 追補マニュアル](#)をご覧ください。

## **V3.1.0 to V4.0.0(Win)**

### **新機能**

- CL ファームウェア V4.00 に対応しました。
- チャンネル名( およびカラー、アイコン)、インプットパッチ、アウトプットパッチ、その他のパッチのデータを CSV ファイルとして読み込み/書き出しできるようになりました。

## **V4.0.0 to V4.0.1**

### **修正した不具合**

- QL V1.0x、CL V1.70/V2.0x で作成された Scene データが、Out of Range の表示が出てロードできない不具合を修正しました。

## **V3.1.0 to V4.0.0(Mac)**

### **新機能**

- CL ファームウェア V4.00 に対応しました。
- チャンネル名( およびカラー、アイコン)、インプットパッチ、アウトプットパッチ、その他のパッチのデータを CSV ファイルとして読み込み/書き出しできるようになりました。

## **V4.0.0 to V4.0.1**

### **修正した不具合**

- QL V1.0x、CL V1.70/V2.0x で作成された Scene データが、Out of Range の表示が出てロードできない不具合を修正しました。

## **V3.1.0(Win)**

## 新機能

- CL ファームウェア V3.10 に対応しました。

## 改善点

- Port to Port 機能で外部の QL をパッチした CL に CL Editor を接続した場合、該当チャンネルに外部 QL のポートが正しくパッチされていないときは、コンソールと同様に CL Editor でも A.GAIN ノブが非表示になるようになりました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

## 3.1.0(Mac)

## 新機能

- CL ファームウェア V3.10 に対応しました。
- Mac OS X 10.11 に対応しました。

## 改善点

- Port to Port 機能で外部の QL をパッチした CL に CL Editor を接続した場合、該当チャンネルに外部 QL のポートが正しくパッチされていないときは、コンソールと同様に CL Editor でも A.GAIN ノブが非表示になるようになりました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

## Editor V3.00 for Win

## 新機能

- CL ファームウェア V3.00 に対応しました。

## NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみ  
のコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で

保存すると、ライブラリーデータのみコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

## Editor V3.00 for Mac

### 新機能

- CL ファームウェア V3.00 に対応しました。

### 修正した不具合

- アンインストーラーが Gatekeeper に対応していなかった不具合を修正しました。

### NOTE

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみコンソールファイルとして保存されます。したがって、All タイプのコンソールファイルを開いて SAVE で保存すると、ライブラリーデータのみコンソールファイルで上書き保存され、その他のデータが消失することにご注意ください。その場合は SAVE AS で別名保存することをおすすめします。

## Editor V2.04

### 新機能

- CL ファームウェア V2.04 に対応しました。

## Editor V2.00

### 新機能

- CL ファームウェア V2.03 に対応しました。
- Overview ウィンドウ上のマウス操作で CH COPY(チャンネルコピー)と CH MOVE(チャンネルムーブ)ができるようになりました。
- OUTPUT PATCH ページと DIRECT OUTPUT PATCH ページに CLEAR ALL を追加しました。

- ウィンドウの開き方を一部変更しました。

## Editor V1.70

### 新機能

- CL ファームウェア V1.70 に対応しました。
- Library ウィンドウで、All タイプの Console File から現在開いているタブに応じたデータを取り出せるようになりました。

#### Note

Library ウィンドウで SAVE または SAVE AS を実行すると、開いているタブに応じたライブラリーデータのみのファイルとして保存されます。SAVE で上書き保存すると All タイプの Console File がライブラリーデータのみの Console File として保存されますので、SAVE AS で別名保存する事をおすすめします。

### 既知の不具合

- Rack Module Editor で PREMIUM ラックを開いているとき、マウントされていないラックを選択してキーボードで入力をするとき、CL Editor が強制終了してしまうことがあります。マウントされていないラックを選択しているときは、キーボードで入力をしないでください。

## Editor V1.5.1

### 修正した不具合

- V1.1.4 以前の CL Editor で保存したシーンライブラリーのファイルが正しく読み込めない不具合を修正しました。

## Editor V1.5.0

### 新機能

- CL ファームウェア V1.5 に対応しました。
- Meter ウィンドウに Monitor Level および Cue Level の値が表示されるようになりました。

### 修正した不具合

- De-esser の Type が HPF の場合に Q が表示される不具合を修正しました。

## Editor V1.1.4

### 新機能

- CL ファームウェア V1.14 に対応しました。

## Editor V1.1.0-2 for Mac

### 新機能

- Mac OS X 10.8 に対応しました。

### 修正した不具合

- Mac OSX 10.8(Mountain Lion)でアンインストーラが起動できない不具合を修正しました。

## Editor V1.1.0

### 新機能

- Scene ウィンドウに FOCUS RECALL ページを新設し、現在選ばれているシーンで特定のチャンネルやパラメーターをリコールするフォーカスリコールの機能を追加しました。
- Scene ウィンドウの SCENE MEMORY ページから、各シーンのフォーカスリコール機能を設定できるようになりました。
- Dante 設定の同期方法を選択できるようになりました。
- Overview ウィンドウと Custom Fader Bank ウィンドウ上で、チャンネルカラーが変更できるようになりました。

### 修正した不具合

- Rack Module Editor で、PREMIUM ラックの Dynamic EQ を表示するとまれに CL Editor が強制終了することがある不具合を修正しました。

- Custom Fader Bank Setup ウィンドウで、Ext.User 時に変更した情報が CL 本体と一致しない不具合を修正しました。
- Outport Setup ウィンドウの RECORDER タブで、レベルメーターが正しく表示されない不具合を修正しました。
- Outport Setup ウィンドウで、MONITOR や CUE を任意の出力ポートに割り当てたときに DELAY 設定が連動しない不具合を修正しました。
- ONLINE の状態で Dante 設定が初期値以外のファイルを読み込んだときに、CL 本体と同期していなくても Dante 設定を送ってしまう不具合を修正しました。
- CL 本体と接続しているときに、ワードクロックを変更すると PREMIUM ラックの BYPASS がオフになることがある不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

## **Editor V1.0.0**

- リリースバージョン